

大会宣言

労働災害の絶滅と労働者の心と体の健康確保は、私たち働く者の究極の願いである。

この目標に向けた関係者の不断の努力により、平成二十七年の県内における労働災害の死傷者数は、一二八五人と過去最少となった。本年は、この減少傾向を確固たるものとする年と位置付けられているが、平成二十八年九月末の死傷者数は八三九人で前年同期より増加に転じている。

一方、本県における業務上疾病による被災者数及び健康診断における有所見率の増加傾向に歯止めがかかっていない状況にある。

また、労働者に対するストレスチェック制度の導入や化学物質のリスクアセスメントの義務化など、安全衛生管理に関し、今まで以上に多様な対応が求められている。

企業を取り巻く環境には大変厳しいものがあるが、情勢がいかに厳しくとも、私たちは「安全と健康確保は全てに優先する課題」であることを再認識し、組織トップのリーダーシップのもと、効果的な労働災害防止対策を計画的かつ継続的に進め、労働災害の絶滅に向けた努力を続けていかなければならない。

本大会を契機に、参加者一人ひとりが原点に立ち返って、人命尊重の基本理念を再確認し、安全で健康・快適な職場作りに向けて全力を尽くすことをここに誓う。

右、宣言する。

平成二十八年十一月十一日

平成二十八年年度 宮崎県産業安全衛生大会